

三重の文化

郷土の文化編

三重県教育委員会

はじめに

三重県では、住む人も、訪れる人も「心の豊かさ」を実感できる「こころのふるさと三重」づくりを進める一環として、「美し^{うまし}国^{くに}おこし・三重」の取組を進めています。

三重県は海や山の豊かな自然に恵まれ、人々が暮らすのに理想的な地域として、古くから「美し国」と呼ばれてきました。また、日本人の精神文化・生活文化の源流とも言える「伊勢」「熊野」を有していることから、「こころのふるさと」として、人々を魅了^{みりょう}し、多くの人々が三重の地を訪れています。さまざまな街道を結び、諸国との文化や情報の交流ができることで、三重の各地に豊かな文化・芸術や産業がはぐくまれ、それらは、また、全国に発信されていくという歴史をたどってきました。

わたしたちは、ふるさと三重の自然、文化、産業、先人の偉業などについて学び、それらをしっかり受け継ぎながら先人の努力に感謝しつつ、さらに発展させていかなければなりません。また、郷土愛や郷土への誇りを持ち、郷土の未来と国際社会における自己の生き方を考え、これからの社会をたくましく生き抜くために、三重県民としての自信と誇りを身に付けていくことが大切です。

そういう思いをこめて、中学生用学習教材を作成しました。昨年7月には、平成16年に県内ではじめて世界遺産に登録された熊野古道についてまとめた第1部「熊野古道編」を発行し、本年は、郷土三重の自然・地理、歴史、産業、文化・芸術等を紹介した第2部「郷土の文化編」を発行することができました。

これらの資料を手にするみなさんが、先人のたゆまぬ努力により営々と築き上げられてきた郷土三重をさらに豊かにし、県内外、国内外に発信し、一層すばらしく、元気な三重にしていくことを期待しています。

そして、この郷土三重を心の糧^{かて}として、たくましく未来を切り拓^{ひら}いていってくださることを願っています。

最後になりましたが、本書の作成に当たって、熱心にご指導・ご協力いただいた関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

平成22年9月

三重県教育委員会教育長
向井 正治